

令和6年度事業実績報告

1. 総括

令和6年度は、これまでの基本的な感染対策を継続しつつ、集合研修及びオンライン（zoom）による研修を実施し、効率のかつ効果的な事業を展開した。

各事業としては、対人援助専門職としての高い専門性と倫理観を身につけることを目指した継続的研修を行うとともに、地域ケア会議への積極的な関わり、医療関係職種との連携強化、多職種や地域団体等との連携構築に向けた活動、多様化・複雑化するニーズに対応するための取組を進めた。また近年多くの自然災害が増えている実情を受け、災害時における対応として大牟田市と協働し個別避難計画の作成促進を図った。

研修事業については、対人援助専門職としての成長に不可欠である“常に基本に戻ること、実践の振り返りと検証を継続すること”を軸とし、基礎研修では、対人援助専門職の枠組みや必要な知識・援助技術を学ぶ研修会を開催し、介護支援専門員の倫理や専門性について理解を深めた。また、介護支援専門員に必要とされる医療・福祉に関する広範な知識・知見を学ぶことができた。共通研修（フォローアップ全体研修）は、多様化・複雑化する課題に対応するため、「ヤングケアラー」の実態把握や支援に対する理解を深めることができた。熟達研修（スーパービジョン研修）は、基礎編・実践編に分かれ、グループスーパービジョンをはじめ、講義・演習にて開催した。

施設ケアマネジメント研究活動支援については、意見交換会を開催した。また「施設ケアマネジメントとチームアプローチの実践」について、チームアプローチの実践を通し利用者の自立支援の方法について学ぶ研修会を開催した。

医療・介護および地域団体との連携推進のための交流事業では、薬剤師との意見交換会を開催し情報共有の方法や連携の在り方について共有できた。またセラピストとの意見交換会では、自由な意見と情報を交換することで多職種間での関係性を深めることができた。同時に、大牟田市在宅医療・介護連携ビジョンに基づき、各専門職能団体や地域関係団体等の連携を推進してきた。

介護支援専門員同士のつながりづくりとしては、ケアマネジメントサポート事業を継続し、意見交換や研修・訪問による相談活動を各包括圏域の主任介護支援専門員同士の創意工夫によって実施された。

情報の共有・発信については、“ホームページ”“フェイスブック”を活用するとともに、機関誌“きらめき”を3回発行することで、協議会の取り組みや研修会等の報告、実践事例の紹介及び社会資源の情報発信に努めた。

令和6年度は、基本的な感染対策を継続しつつ、各関係団体との足並みをそろえる難しい時期であったが、コロナ禍以前の事業展開も再開し、充実した活動となった。事業所会員は38件、個人会員201名となっている。

おわりに、当協議会の活動を支援していただいた大牟田市関係課や大牟田市介護サービス事業者協議会など諸関係団体、及び会員の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き今後の活動についてご支援、ご協力をお願いし、令和6年度のまとめとしたい。

2. 事業部会事業実績

(1) 事務局

①役員会の開催

◆第1回（6月20日）

- 議題：1. 令和6年度大牟田市介護支援専門員連絡協議会「書面審議資格確認」について
2. 個別避難計画作成促進事業について
3. 令和6年度大牟田市在宅医療・介護連携推進事業への委員の推薦について
4. 令和6年度大牟田市在宅医療推進研修運営委員会への委員の推薦について

◆第2回（10月1日）

- 議題：1. 各部会の進捗状況について
2. 居宅介護支援事業所及び介護支援専門員による介護予防支援等に関する状況調査の実施について
3. 大牟田市あんしん介護相談員選考委員の推薦について

◆第3回（2月6日）

- 議題：1. 各部会の進捗状況について
2. 居宅介護支援事業所及び介護支援専門員による介護予防支援等に関する状況調査の回答について
3. 個別避難計画作成促進事業について
4. 大牟田市介護認定審査会委員の推薦について
5. 地域ケア会議への主任介護支援専門員の派遣について

◆第4回（3月4日）

- 議題：1. 令和7年度定期総会について
2. 議案書について

②令和6年度定期総会の開催「書面審議」

資格要件確認日：4月26日

議案：1. 令和5年度事業実績報告

2. 令和5年度決算報告及び基金運用状況報告ならびに監査報告
3. 令和6年度事業計画（案）
4. 令和6年度予算（案）

③介護関係イベントへの参加及び行政・介護サービス事業者協議会・大牟田医師会との連携

- ◆大牟田市健康福祉推進会議 橋口会長が委員として参加
- ◆大牟田市地域包括支援センター運営協議会 橋口会長が委員として参加
- ◆大牟田市障害者自立支援・差別解消支援協議会 荒川事務局員が委員として参加
- ◆認知症地域医療連携協議会 井上情報交流部会長が委員として参加
- ◆大牟田市居住支援協議会 森田副会長が監事として参加
同協議会 井形事務局長が委員として参加
- ◆大牟田市営住宅審議委員会 今岡広報事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田地域健康推進協議会へ加盟

- ◆大牟田みんなの健康展’ 24へ参加「もっと知ろう！自分の体の事、介護保険の事」を担当
- ◆地域ケア会議への主任介護支援専門員推薦
- ◆大牟田市在宅医療・介護連携推進協議会 橋口会長が委員として参加
同協議会企画実行委員会 井形事務局長が委員として参加
- ◆在宅医療・介護連携推進研修運営委員会 井上情報交流部会長が委員として参加
- ◆大牟田市あんしん介護相談員選考委員として森田副会長が参加

④他市町村協議会等との連携と情報収集

日程： 10月19日、11月16日、12月20日、2月15日、3月15日

内容： 令和6年度 SV 研修 基礎講座（熊本県介護支援専門員協会）の講師として、
SV 研修実践塾と共に当連絡協議会のスーパーバイザー4名が取り組んだ。

⑤ケアマネ支援事業（ケアマネジメントサポート事業）

◆サポート事業連携担当会議

①日程：7月25日 ②日程：3月24日

- ・各地域包括支援センター圏域毎に独自の取り組みを実施。
- ・各地域包括支援センターと主任介護支援専門員にて現場の課題抽出。

⑥施設ケアマネジメント研究活動支援

◆施設ケアマネジメントに関する意見交換会を実施

日程：9月11日

会場：zoom 開催

内容：自立支援促進と個別ケアの取り組み状況について
多職種連携の実情や課題について
利用者の望む暮らしの実現についての取り組みについて

参加者数：9名

◆施設ケアマネジメント研究活動支援研修会を実施

日程：令和7年3月28日

会場：イオンモール大牟田 イオンホール B

講師：小島 隆幸氏（社会福祉法人熊本東翔会総合ケアセンターたいめい苑 施設長）

村上 優弥氏（社会福祉法人熊本東翔会総合ケアセンターたいめい苑 生活相談員）

内容：「施設ケアマネジメントとチームアプローチの実践」

参加者数：21名

※開催にあたって、施設介護支援専門員・生活相談員等実践者との協議を行い開催。

⑦利用者が住み慣れた地域で暮らしを継続していくための研修会

※第5回基礎研修（研修事業部会との共催）

⑧災害時における協力体制の構築

◆個別避難計画作成促進事業

災害時における利用者避難の円滑化を図るため、大牟田市と協働で介護支援専門員及び関係事業所に対し個別避難計画書作成促進を図った。

⑨部会活動～会議の開催（４回）すべて zoom にて開催。

第１回	５月２９日	役割分担・スケジュールについて みんなの健康展の出展について 個別避難計画作成促進事業について 今後の事務局部会会議について
第２回	８月２日	施設ケアマネジメント研究活動支援事業について 利用者が住み慣れた地域で暮らしを継続していくための研修会について みんなの健康展について
第３回	１２月６日	利用者が住み慣れた地域で暮らしを継続していくための研修会について 施設ケアマネジメント研究活動支援研修会について
第４回	３月１９日	令和６年度事業実績報告・令和７年度事業計画（案）について 令和７年度総会について

（２）研修事業部会

①共通研修（フォローアップ全体研修）（２月１７日）

内容：「ヤングケアラーの実態と支援」

講師：高垣内 文也氏（一般社団法人ヤングケアラー協会 理事）

会場：zoom 開催

参加者数：２６名

②熟達研修（スーパービジョン研修）の開催

令和５年度より２年間の課程で月１回スーパービジョン研修を実施した。基礎編６名、実践編１２名で研修を計１０回実施した。

③基礎研修の開催

◆第１回（７月３０日）

内容：「介護支援専門員の仕事とは？その意義と役割を考える」

講師：柴口 里則氏（グリーンケア株式会社 専務取締役

一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長

公益社団法人福岡県介護支援専門員協会 会長）

会場：大牟田アリーナ 会議室１～４

参加者数：６５名

◆第２回（９月１３日）

内容：「緩和ケア トータルペインの理解」

講師：坂井 敏子氏（大牟田市福祉課総合相談担当・がん認定看護師）

会場：zoom 開催

参加者数：38名

◆第3回（1月15日）

内容：「お薬のはなし」

講師：近藤 崇之氏（大牟田市薬剤師会 副会長・大牟田市民薬局代表取締役 管理薬剤師）

会場：zoom 開催

参加者数：31名

◆第4回（10月22日）

内容：「知っておきたい 口腔の基礎知識」

講師：松田 宏一氏（一般社団法人大牟田歯科医師会 会長・松田歯科医院 院長）

会場：大牟田文化会館 第1・2研修室

参加者数：33名

◆第5回（12月22日）

内容：「利用者が住み慣れた地域で暮らしを継続していくための研修会」

講師：馬場 朋文氏（社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会 総合生活支援課 課長）

会場：zoom 開催

参加者数：30名

④部会活動～会議の開催（4回）すべて zoom にて開催

第1回	5月10日	令和6年度事業計画研修と役割分担について
第2回	7月12日	研修経過確認について
第3回	10月22日	令和7年度研修計画と延期研修について
第4回	12月3日	フォローアップ研修事前打ち合わせ 令和7年度研修計画について

（3）広報事業部会

①会報「きらめき」の発行（年3回）

◆VOL. 84号（令和6年7月発行）

- ・令和6年度 大牟田市介護支援専門員連絡協議会 定期総会が開催されました
- ・会長・副会長挨拶
- ・各部会紹介
- ・シリーズ実践事例「夫の思いが強く支援に悩んだ事例」
- ・リレー随想 やぶつばきケアプランセンター 北山 英典氏
- ・保険者（大牟田市福祉課）からのお知らせ

◆VOL. 85号（令和6年11月発行）

- ・施設ケアマネジメント研究活動支援 意見交換会を開催しました
- ・基礎研修④「知っておきたい口腔の基礎知識」
- ・「大牟田みんなの健康展'24」に参加しました！
- ・基礎研修②「緩和ケア～トータルペインの理解～」
- ・保険者より「依存症なんでも相談会」のお知らせ
- ・シリーズ実践事例「本人の強い希望で在宅療養を選ばれ、自宅で最期を迎えられた事例」
- ・リレー随想 ケアプランサービス フルーリィ 斎田 裕子氏
- ・保険者（大牟田市福祉課）からのお知らせ

◆VOL. 86号（令和7年3月発行）

- ・フォローアップ全体研修「ヤングケアラーの実態と支援」
- ・SV研修 基礎編・実践編合同研修（Aチーム・Bチーム）の報告
- ・基礎研修③「お薬のはなし」
- ・シリーズ実践事例「精神疾患をもつご夫婦の言動に振り回されているケアマネの事例」
- ・リレー随想 白川病院ケアプランサービス 野林 友和氏
- ・保険者（大牟田市福祉課）からのお知らせ

②部会活動～会議の開催（3回）すべて zoom にて開催

第1回	4月12日	きらめき84号編集会議
第2回	8月27日	きらめき85号編集会議
第3回	12月16日	きらめき86号編集会議

※きらめき各号の企画打ち合わせ、記事担当の役割分担

（4）情報交流部会

①主治医と介護支援専門員及び多職種との交流事業

感染対策上大牟田医師会との共催ができず、今年度も中止となった。

②医療・介護の多職種、地域団体との連携推進のための交流事業

対面で、多職種との意見交換会・交流会を開催した。

◆薬剤師と介護支援専門員との意見交換会

日程：11月13日 19：00～20：30

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

内容：「訪問薬局の実際」について 市民薬局 近藤崇之氏の講演の後、「在宅支援での利用者の情報共有と連携での困りごと」をテーマにグループで活発な意見交換がなされた。

参加者：57名（薬剤師22名、介護支援専門員32名、福祉課3名）

◆セラピストと介護支援専門員との意見交換会

日程：3月25日 19:00～20:30

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

内容：「セラピストと介護支援専門員との意見交換会」

セラピストに対して事前アンケートを実施した結果報告と情報共有、その後
お互いを知る為の名刺交換などを行い自由な意見交換・交流がなされた。

意見交換：グループワーク

参加者：49名（セラピスト21名、介護支援専門員28名）

③部会活動～会議の開催（7回）すべて集合し開催

第1回	6月10日	年間事業の検討
第2回	7月30日	年間事業の内容の検討
第3回	9月17日	医療・介護の多職種、薬剤師との連携推進のための交流会内容の検討（内容、講師決定）
第4回	10月31日	医療・介護の多職種、薬剤師との連携推進のための交流会内容の検討（役割、タイムスケジュール、進め方について）
第5回	12月18日	医療・介護の多職種、薬剤師との連携推進のための交流会の振り返り セラピストと介護支援専門員との意見交換会について検討（講師、内容など）
第6回	2月4日	セラピストと介護支援専門員の意見交換会について検討（案内方法や内容当日の役割きめなど）
第7回	3月25日	セラピストと介護支援専門員との意見交換会について最終確認（内容、役割など）